

No. 1601

海をきれいに

——東京湾——

6月5日から海洋汚染防止週間運動が海上保安庁を中心に全国で行われ、東京湾をうけもつ東京海上保安部でも、クリーン作戦を行いました。

湾内に新しく就航したクルーズ船に、海上保安官が立入検査。ブリッジで、船員手帳、航海日誌などをチェックしたり、パンフレットを渡して汚染防止の指導を行いました。機関室では油と水を分離できる、油水分離器の作動ぶりを検査。

また巡視船による臨海工場からの汚染の採水調査を港内で実施しました。工場からの汚水は近年工場内の設備が整備されて以前より減っています。しかし家庭からの排水が水質汚染の大きな原因になっており、東京湾では汚れの7割が生活系排水によると言われています。

海や川をきれいにするために、もう一度身近なところから汚染の原因について見直してみたいものです。

宇野新内閣スタート

6月2日衆議院本会議で首相指名選挙が行われました。

社会、公明、社民連の三党が土井たか子社会党委員長を統一候補にたてれば、自民党は議員総会で選出された宇野新総裁をたてました。自民党総裁選挙では山下元利氏を擁立した議員も宇野氏に投票。その結果第75代、47人目の首相に指名された宇野首相は早速首相官邸に入り、新任の橋本幹事長、村田政調会長など党3役と塩川官房長官が閣僚人事を進めました。午後8時塩川官房長官が組閣名簿を発表。注目の外相には三塚通産大臣が横滑り。小泉厚生大臣ら4閣僚が再任され、法相には元防衛庁長官谷川和穂氏が就任。新人は11人と若手起用が目立ったものの、リクルート事件の政治不信の高まりの中で「中曽根亜流政権」といわれないような「政治改革」を目指して欲しいものです。